

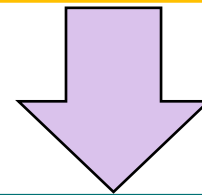
第2回 堀切菖蒲園駅周辺地区 街づくり勉強会

令和6年12月7日（土）堀切地区センター 3階 ホール

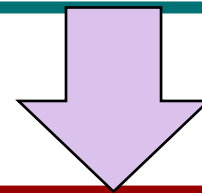
主催：葛飾区 都市計画課 地域街づくり担当係

第2回勉強会の目的

まちづくり方針（案）についてご意見をいただく



堀切菖蒲園駅周辺地区の地域資源や活性化を図るための方策についてご意見をいただく



目的

皆様のご意見を踏まえて、
堀切菖蒲園駅周辺地区の
まちづくり方針を決定すること

第2回勉強会の内容

1. 第1回勉強会とアンケートの振り返りについて
2. まちづくり方針（案）について
3. まちの活性化を図るためのソフト事業について

1. 第1回勉強会とアンケートの振り返りについて

1－（１）第１回勉強会の概要

日 時：令和６年９月２８日（土）

場 所：堀切地区センター２階第１会議室

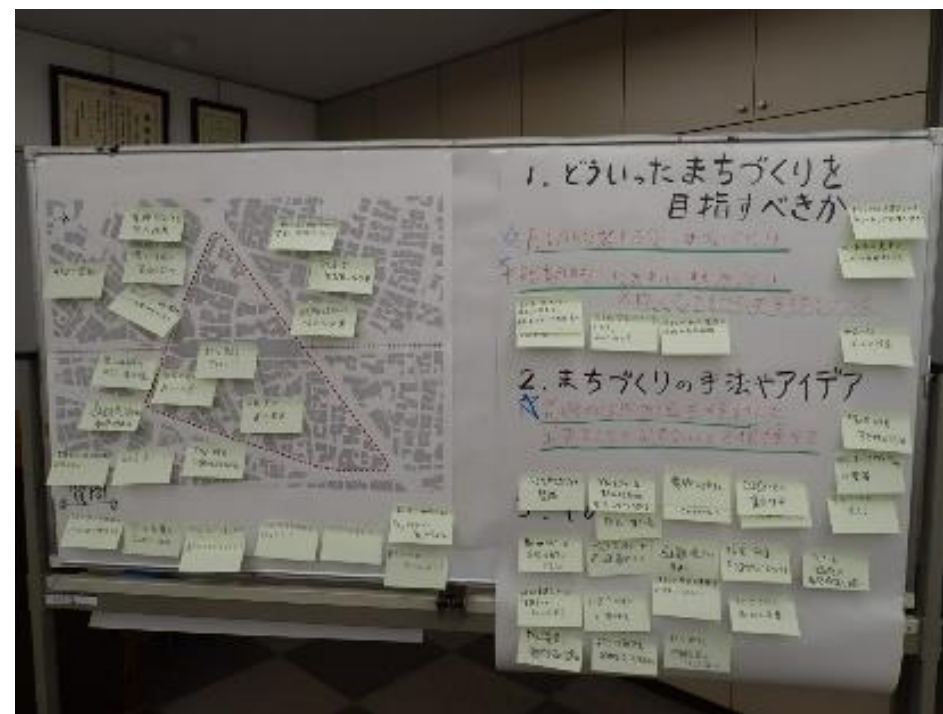
対象者：堀切菖蒲園駅周辺地区に土地や建物などの
権利をお持ちの方

内 容：①駅周辺地区の現状と課題について
②区で実施しているまちづくり事業の紹介
③地区まちづくりの先行事例の紹介
④まちづくり方針（案）の検討・決定

1 – (2) 第1回勉強会の意見交換 テーマ

1. まちの現状と課題を踏まえて、こういった
まちづくりを目指すべきか

2. 拠点ごとのまちづくりの手法やアイデア



第1回勉強会の
様子（左）
いただいたご意見
（右）

1 – (3) 第1回勉強会でいただいた ご意見

- ✓ 駅前のタクシー乗り場を何とかしてほしい
- ✓ 空き家や空地をもっと有効に活用してみてもどうか
- ✓ 電線を地中化してきれいなまちにしてほしい
- ✓ 災害時の避難場所がわかる標識を整備してほしい
- ✓ まちに緑がもっとほしい
- ✓ 下町情緒あふれる魅力的なまちづくりを目指すべき
- ✓ 活気のある賑やかなまちもいい
- ✓ 道路が狭いので何とかしてほしい
- ✓ 変化が見えるまちづくりを進めてほしい

1－（４）第１回勉強会の意見集約

第１回勉強会の意見を踏まえて考えられる取組・考え方	取組・考え方の種類
タクシー駐車場の整備	インフラ整備
電線地中化による街並み景観・歩行者環境の向上	インフラ整備
マクロ（長期）とミクロ（中・短期）のまちづくりの融合 （参考：目に見える変化が重要）	考え方
地区の一体的な防犯まちづくり	インフラ整備・住民主体の取組
サイン整備による安全・快適なまちづくり	インフラ整備
地区内道路ネットワークの構築による安全安心なまちづくり 例）主要生活道路の整備（密集市街地整備事業、街並み誘導地区計画等） 例）歩行者専用道路の防犯灯整備、舗装美装化	インフラ整備
大型商業施設と連携した賑わいまちづくりの推進（テナント誘致含む）	インフラ整備・住民主体の取組
緑あふれる潤いのあるまちづくりの推進	インフラ整備
地域住民との協働による地域資源の掘り起こしとミクロなまちづくり戦略の策定	考え方

1 －（５） 第１回勉強会後に実施した アンケート調査結果

調査概要

調査名：堀切菖蒲園駅周辺地区のまちづくりに向けた
アンケート調査

調査対象：堀切菖蒲園駅周辺地区に土地や建物などの
権利をお持ちの方

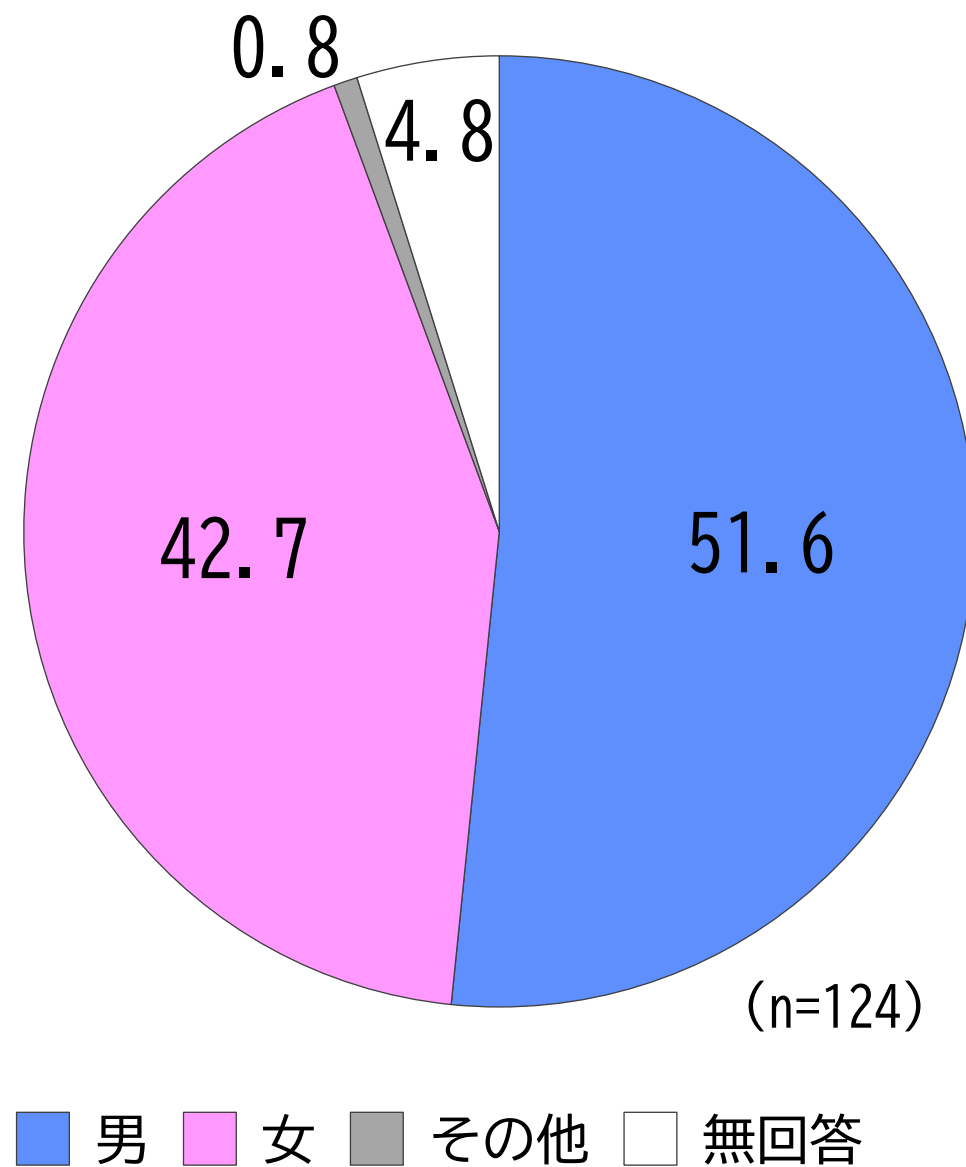
調査時期：令和6年10月22日～11月6日

調査方法：郵送、WEB

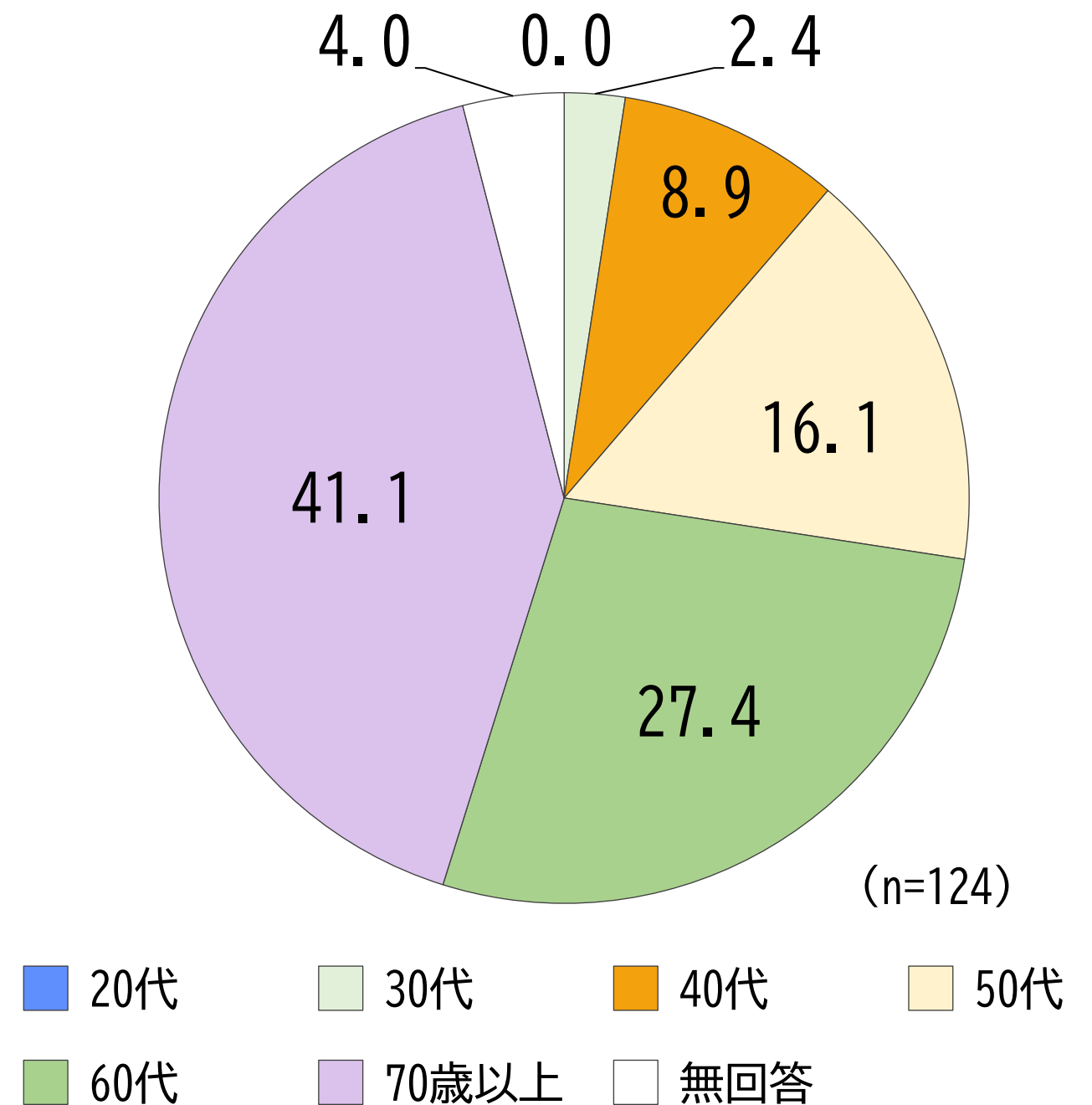
回収率：124件（紙98件、WEB26件）（回収率29.8%）

1－（５）第１回勉強会後に実施したアンケート調査結果

性別（単位：％）

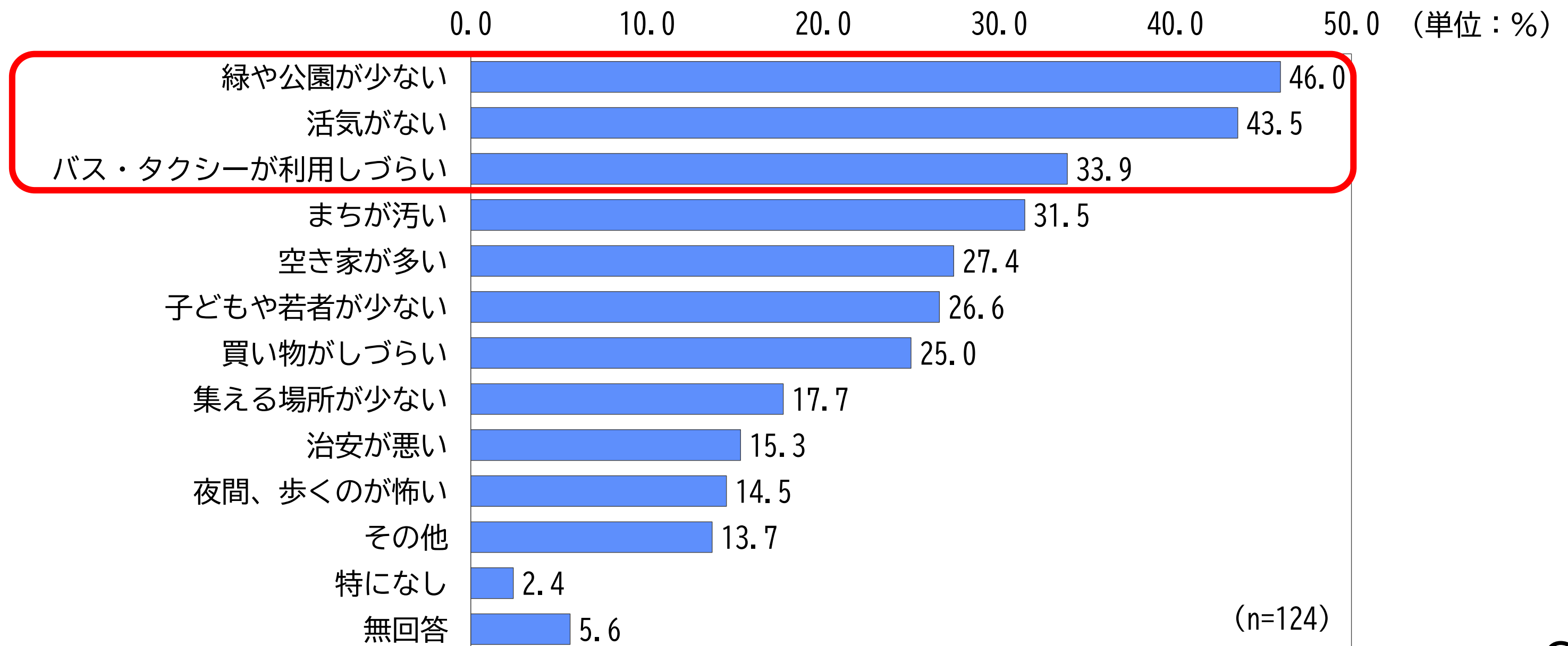


年齢（単位：％）



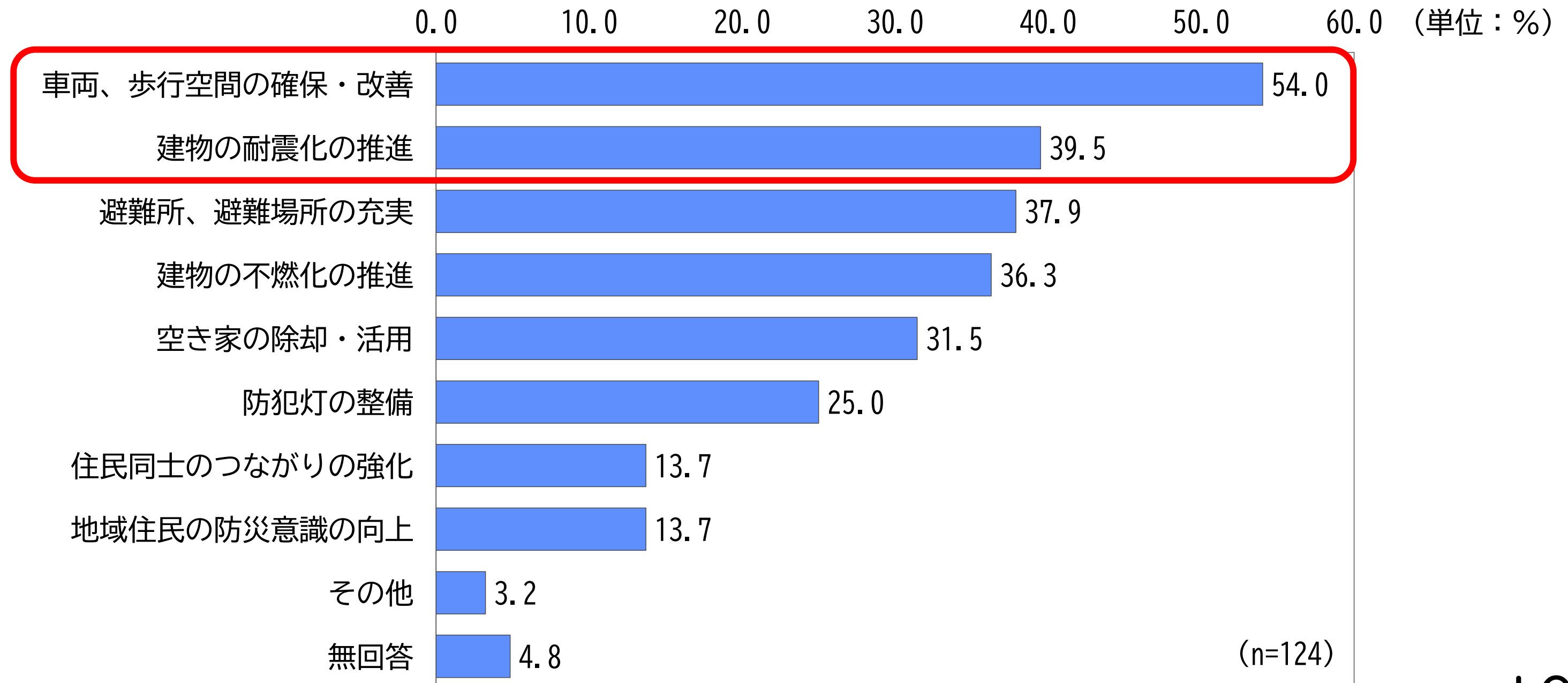
1 – (5) 第1回勉強会後に実施した アンケート調査結果

問1 今後、まちづくりを進めていくうえで、狭あい道路、建物の老朽化が進んでいる、木造住宅が密集している以外の課題について



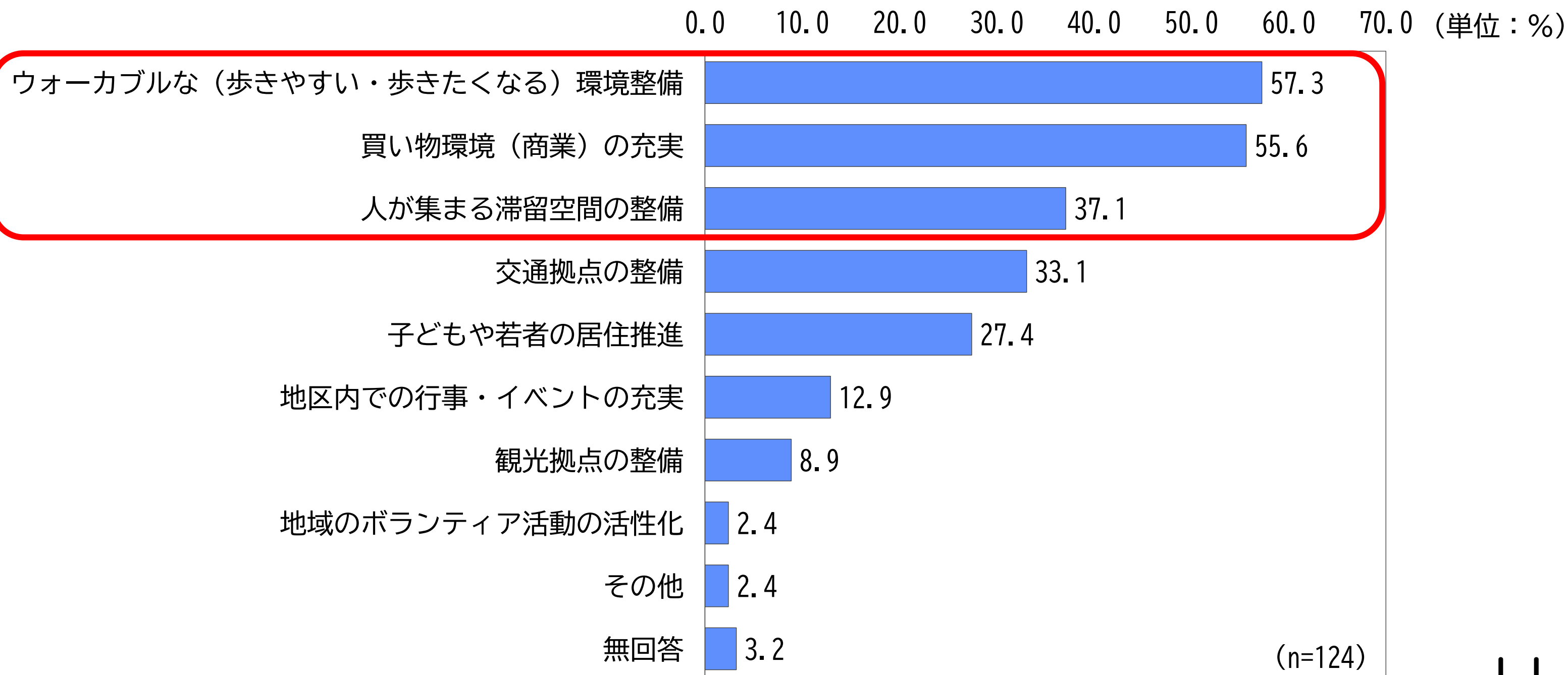
1－(5) 第1回勉強会後に実施した アンケート調査結果

問2－① 安全・安心のまちづくりの視点で優先 すべき取組について



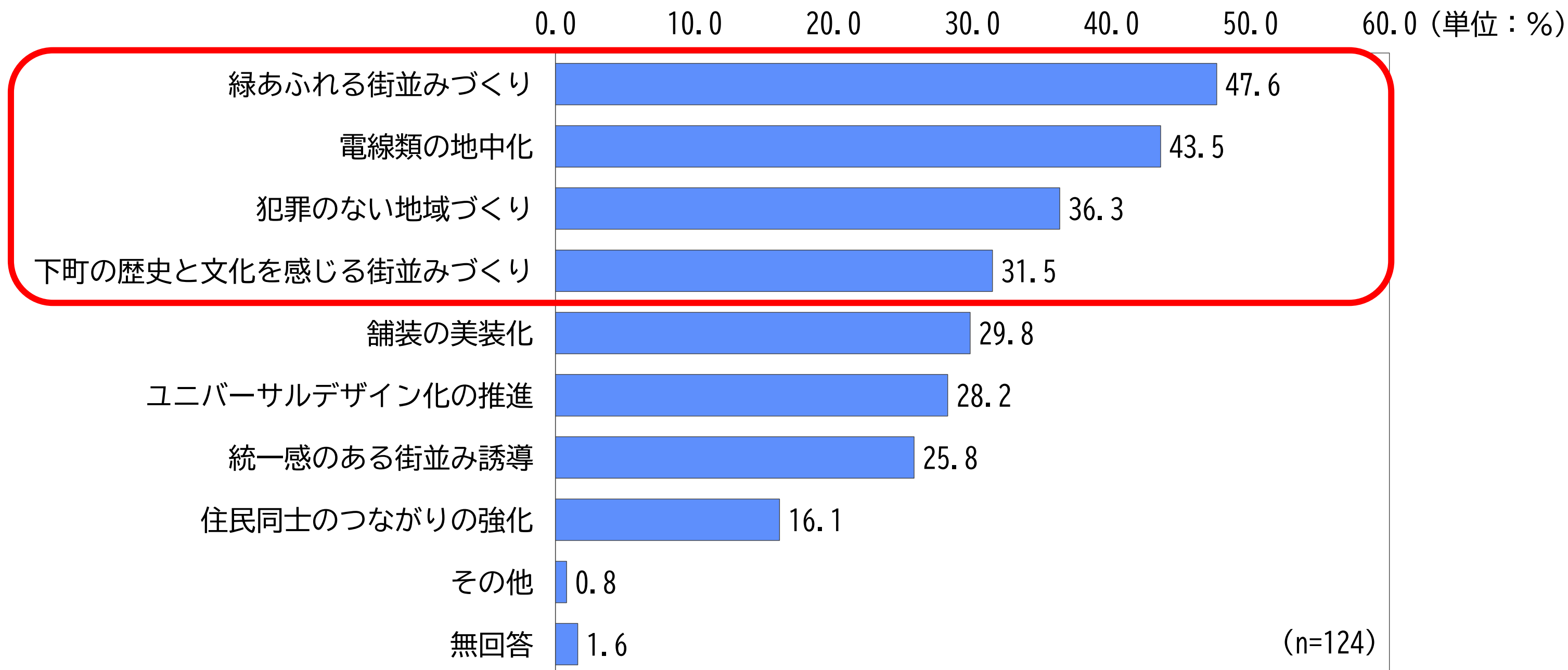
1－（５）第１回勉強会後に実施した アンケート調査結果

問２－② 賑わいのあるまちづくりの視点で優先 すべき取組について



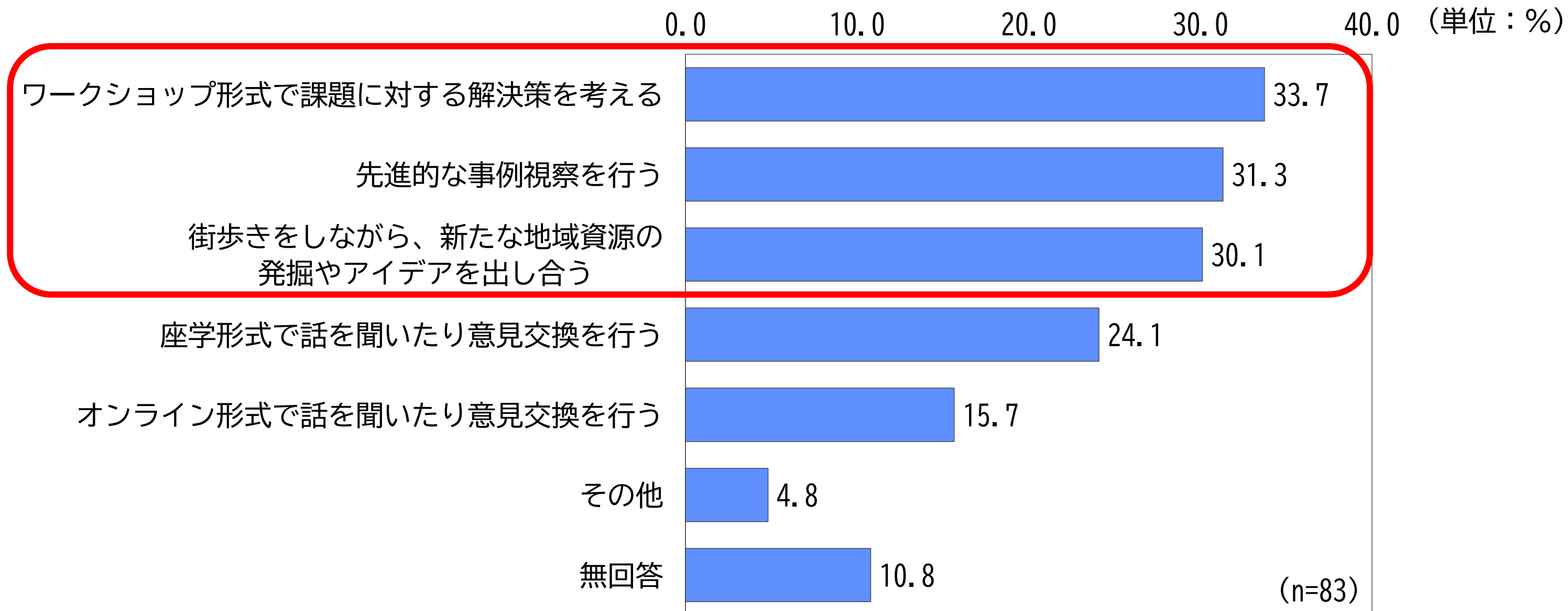
1－（５）第１回勉強会後に実施した アンケート調査結果

問２－③ 魅力のあるまちづくりの視点で優先 すべき取組について（※選択肢の内容を一部省略しています）



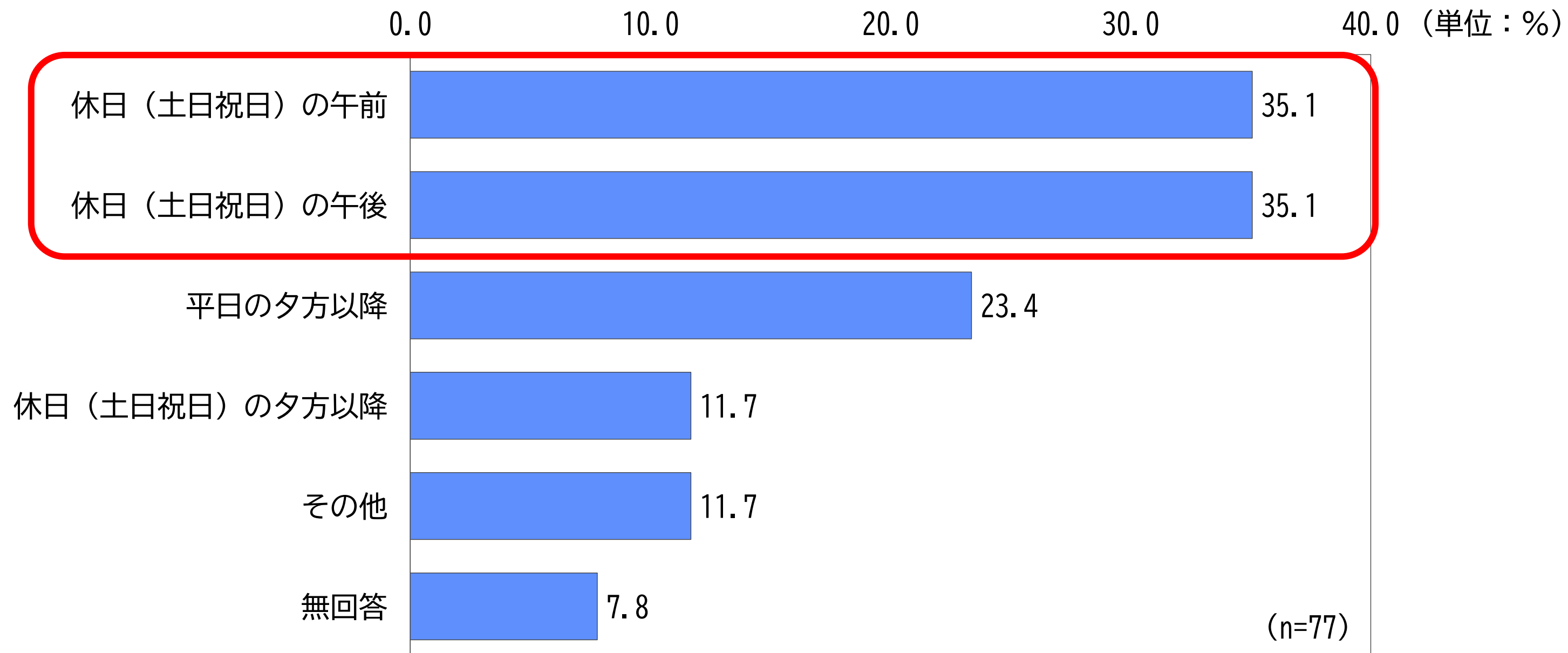
1－(5) 第1回勉強会後に実施した アンケート調査結果

問4－① 参加してもいいと思われる勉強会の 内容について



1－（５）第１回勉強会後に実施したアンケート調査結果

問４－② 参加しやすい勉強会の日時について



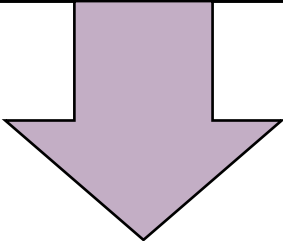
1－（５）第１回勉強会後に実施した アンケート調査結果

問５ 自由意見（一部抜粋）

- ・ 駅前の空き店舗をうまく利用できるようにしてほしい。
- ・ 緑や水の流が見られるまちづくりを検討してほしい。
- ・ 観光拠点の整備、駅から菖蒲園までの歩きやすい、歩きたくなる環境整備、地区内での行事イベントが必要。
- ・ 水路が汚く不衛生なので改善してほしい。
- ・ 生活道路の道幅を是非広げてもらいたい。
- ・ 駅周辺の店の充実（ただしゆとりのある空間）商店街の充実、カフェや雑貨店など歩きたくなるような通りが必要。

1 – (6) アンケート結果と第1回 勉強会のご意見

安全安心なまちづくり	賑わいのあるまちづくり	魅力あるまちづくり
◎歩行環境改善 ◎建物の耐震化の推進 ○建物の不燃化の推進 ・避難経路の整備	◎ウォーカブルな環境整備 ◎買い物環境の充実 ◎人が集まる滞留空間の創出 ・タクシー駐車場の整備 ・大型商業施設との連携	◎緑あふれる街並みづくり ◎電線類の地中化 ◎下町の歴史と文化を感じる街並みづくり ○調和のとれた街並みづくり ・南北水路の修景整備
地区全体の目標 ◎下町らしい風情や温もりが感じられるまち ◎緑あふれる潤いのあるまち ◎堀切に住む人が楽しめ、様々な商店がある魅力あるまち ◎駅を中心に賑わいが広がるまち ◎安全安心なまち		



◎＝地区全体の目標、アンケート調査の上位意見
○＝アンケート調査の中位意見
・＝アンケート調査の自由意見、第1回勉強会意見

まちづくり方針 (案)
基本コンセプト (案)

下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくり

下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくり

背景

- ・ 地区の目に見える変化が必要
- ・ 主要生活道路の未整備
- ・ 建築物の耐震性・不燃化の不足
- ・ 地区内広場や滞留空間の不足
- ・ 歩行環境の未整備

課題

- ・ 今後のまちづくりの方向性の設定
- ・ 主要生活道路の整備
- ・ 建築物の建替えルールづくり
- ・ 駅前広場の整備や共同化の検討
- ・ 歩行環境整備

<安全安心なまちづくり>

- ◎歩行環境改善
- ◎建物の耐震化の推進
- 建物の不燃化の推進
- ・ 避難経路の整備

<地区全体の目標>

- ◎下町らしい風情や温もりが感じられるまち
- ◎緑あふれる潤いのあるまち
- ◎堀切に住む人が楽しめ、様々な商店がある魅力あるまち
- ◎駅を中心に賑わいが広がるまち
- ◎安全安心なまち

安全安心な
まちづくり

魅力ある
まちづくり

賑わいのある
まちづくり

<魅力あるまちづくり>

- ◎緑あふれる街並みづくり
- ◎電線類の地中化
- ◎下町の歴史と文化を感じる街並みづくり
- 調和のとれた街並みづくり
- ・ 南北水路の修景整備

<賑わいのあるまちづくり>

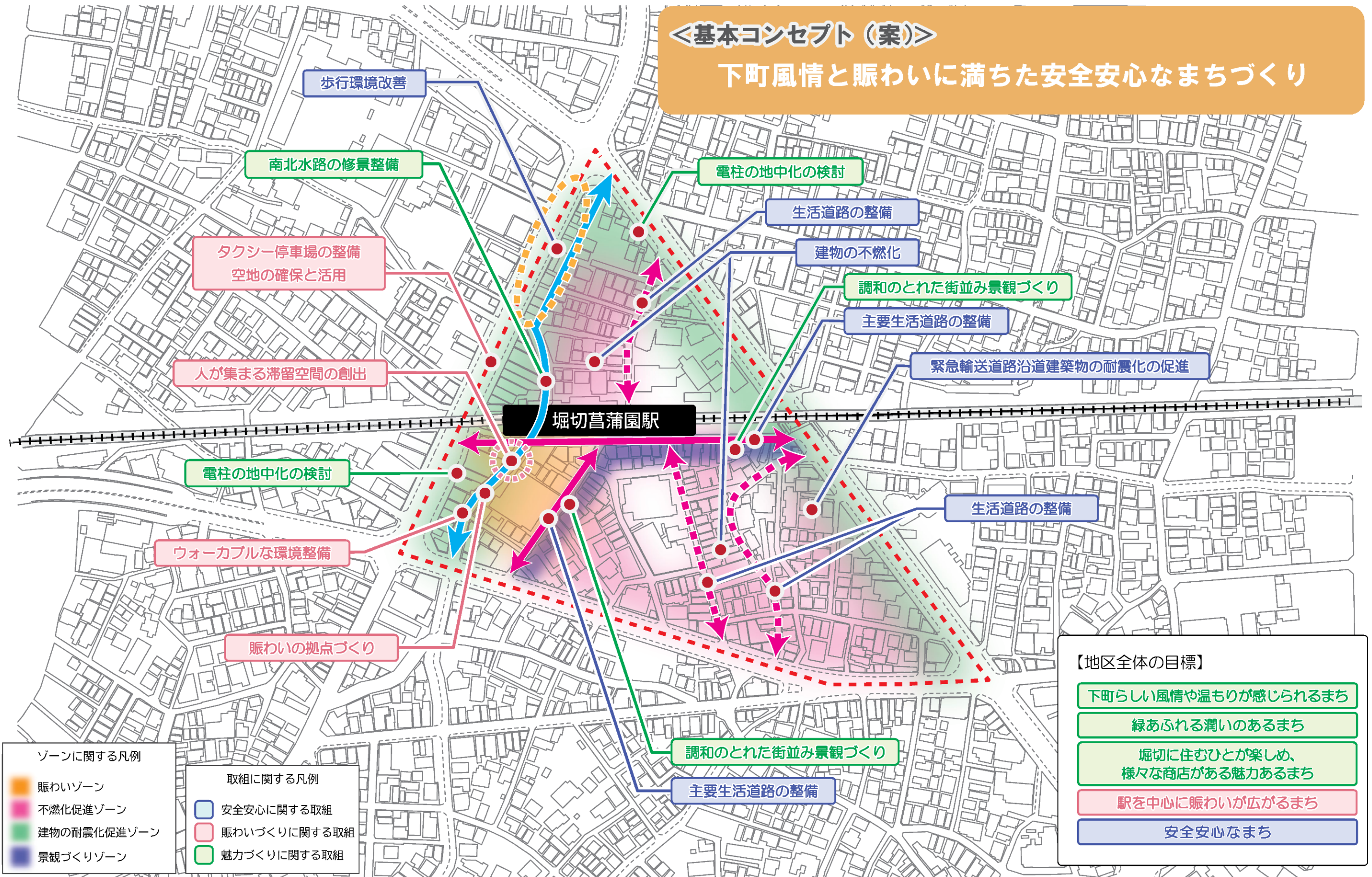
- ◎ウォーカブルな環境整備
- ◎買い物環境の充実
- ◎人が集まる滞留空間の創出
- タクシー駐車場の整備
- ・ 大型商業施設との連携

2. まちづくり方針（案）について

堀切菖蒲園駅周辺まちづくり方針（案）

<基本コンセプト（案）>

下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくり



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を使用して作成したものである。

（承認番号） 6 都市基交測第 1 2 4 号、令和 6 年 9 月 3 日

（承認番号） MMT 利許第 0 6 - 1 2 2 号、令和 6 年 9 月 4 日

まちづくり方針（案）に基づく整備イメージについて

2－（１）まちづくり方針（案）に 基づく整備イメージ

- ① 人が集まる滞留空間の創出
- ② ウォーカブルな環境整備
- ③ 下町の歴史と文化を感じる街並み景観づくり
- ④ 主要生活道路の整備
- ⑤ 緑あふれる街並み景観づくり
- ⑥ 地区の一体的な防犯まちづくり

2 - (2) ① 人が集まる滞留空間の創出 (整備イメージ：東京都 目黒区)



2－（3） ② ウォーカブルな環境整備 （整備イメージ：長野県 長野市）



2 - (4) ③ 下町の歴史と文化を感じる 街並み景観づくり

(整備イメージ：神奈川県 川崎市)



2 - (5) ④ 主要生活道路の整備

(整備イメージ：愛媛県 松山市)



2－（6）⑤ 緑あふれる街並み景観づくり （整備イメージ：神奈川県 川崎市）



2 - (7) ⑥ 地区の一体的な防犯まちづくり (整備イメージ：埼玉県 川口市)



3. まちの活性化を図るためのソフト事業について

3－（１）ソフト事業とは

ソフト事業とは、地域の魅力や活力を高めるために、住民が主体となって取り組む事業のこと。

例えば、イベントや催し物を開催するなど、人が中心となって行うものを指す。

3－（2）事例1：歴史あるストリート （参考イメージ：東京都 江東区 高橋のらくろード）

場所：高橋のらくろード
（高橋商店街）

課題：大型店の郊外への
出店による商店街
の衰退



高橋のらくろード
（出典：Google Maps）

3－（２）事例１：歴史あるストリート （参考イメージ：東京都 江東区 高橋のらくろード）

かつての賑わいを取り戻すために、季節ごとのイベントやワークショップの開催や、毎週日曜、祝日は歩行者天国を開催し、多くの商店が出店を出した。



商店街の街並み
（出典：Google Maps）



イベントの様子
（出典：Google Maps）

3－（2）事例1：歴史あるストリート （参考イメージ：東京都 江東区 高橋のらくろード）

イベントや歩行者天国の開催時は、多くの人たちで賑わいを見せるようになった。
その結果、店舗同士が協力し合う関係性が生まれ、商業の活性化につながっている。



（出典：一般社団法人
江東区観光協会HP）

3－（3）事例2：住民をつなげる縁日 （参考イメージ：東京都 文京区 光源寺）

場所：東京都 文京区
光源寺

課題：地域コミュニティ
の希薄化



光源寺（駒込大観音）
（出典：文京区観光協会HP） 30

3－（3）事例2：住民をつなげる縁日 （参考イメージ：東京都 文京区 光源寺）

地域住民同士の新たなつながりを生み出すために、寺と有志の手により企画・運営が行われ、**縁日**を開催した。



縁日の様子

（出典：文京区観光協会HP）



和太鼓の演奏

（出典：駒込学園和太鼓部HP） 31

3－（3）事例2：住民をつなげる縁日 （参考イメージ：東京都 文京区 光源寺）

縁日における新たな出会いや共同作業を行うことで、まちとしての連帯意識や信頼関係が醸成され、まちが一体となって盛り上がることにつながった。

縁日の案内

（出典：文京区観光協会HP） 32

3－（４）事例３：商業施設と連携した商業イベント（参考イメージ：北海道 釧路市）

場所：北海道 釧路市
釧路西部たらふく商店会

課題：不況や地域経済
の停滞による商
店会の衰退



釧路西部たらふく商店会
（出典：釧路西部たらふく
商店会HP）

3－（４）事例３：商業施設と連携した商業イベント（参考イメージ：北海道 釧路市）

商店会の活性化を図るため、平成12年オープンした「イオン釧路昭和ショッピングセンター」と連携して、多良福まつりを開催した。



イベントの様子
（出典：北海道HP）

3－（４）事例３：商業施設と連携した商業イベント（参考イメージ：北海道 釧路市）

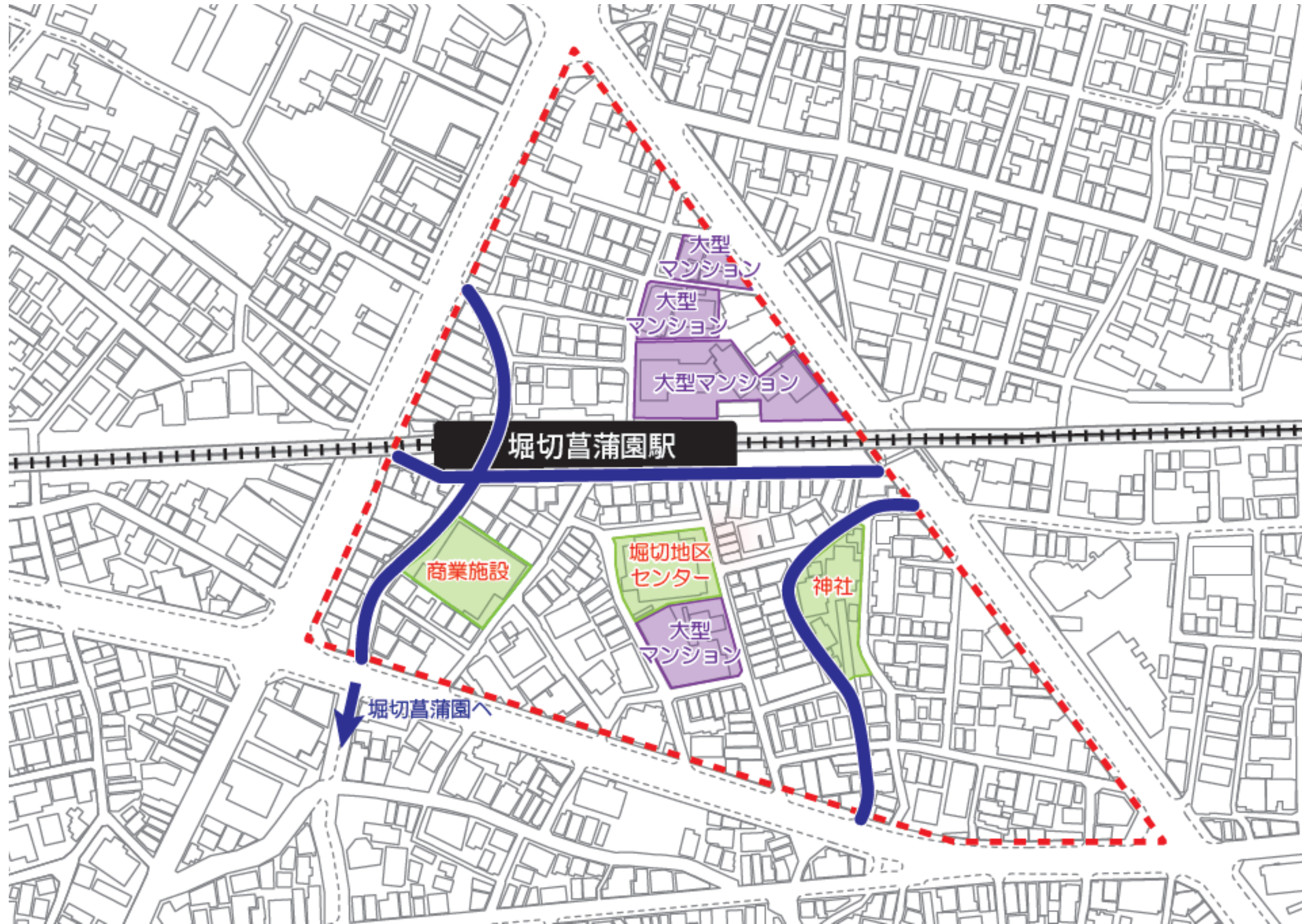
イベントの成果として、商店会側、イオン側ともにイベント後の来客が増加し、店舗のPR、売上の増加につながった。



釧路西部たらふく商店会
（出典：釧路西部たらふく
商店会HP）

ソフト事業につながる地域資源について

3－（５）ソフト事業につながると 考えられる地域資源のご紹介



3 – (6) 本日、皆様とともに 話し合いたいこと

① まちづくり方針（案）の取組の優先順位について

② まちづくり方針（案）の他に考えられる取組について

③ まちづくり方針（案）の基本コンセプト(案)について

④ 地区内のどこでどのようなソフト事業が考えられるか
について

⑤ 地域住民の協力を得るために必要なことについて

ワークショップにおける注意点

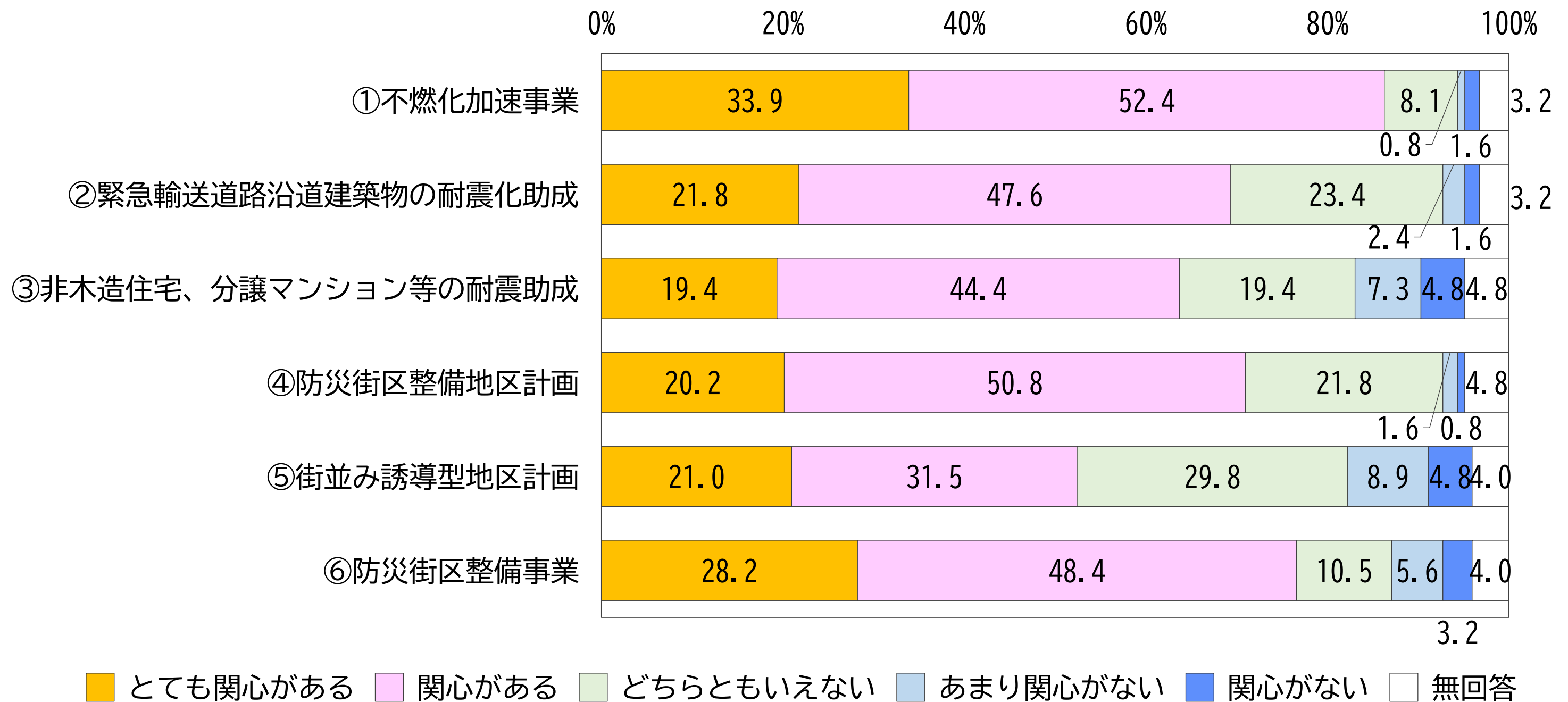
ワークショップにおける注意点

- ① グループ全員が参加できるようにする（一人で長く話しすぎない）
- ② 他の人の意見を否定しない
- ③ テーブルコーディネーターの進行に従う

最後に

まちづくりを進めていくための方法

問3 それぞれのまちづくり事業の関心度について



(n=124)

当日アンケートのご協力をお願い

回答後は会場出口の受付まで
お持ちください